

習高生が中学生ら指導

ソフトボール実技講習会

習志野市ソフトボール協会主催の令和2年度の実技講習会が令和2年12月6日、第一カッター球場で開かれた。

25回目を迎えた講習会には市内中学生を中心に小学生も参加し、習志野高校ソフトボール部の齊間香織監督と部員から守備や打撃の基本などの実技指導を受けた。



球種を投げ分け投球する高校生



バントの手本を示す高校生



中学生たちに投手の投球動作について教える齊間監督

対抗親善ソフトボール大会優勝の秋津モーターリングスに優秀団体賞が贈られた。また、第69回県民体育大会で3位となったソフトボール女子代表も栄誉を称えられた。

習志野市ソフトボール協会の矢坂英子会長は「コロナ禍による練習不足の中でも、10月に第二中学校と第五中学校は県新人の小泉杯で3位となり、11月には習志野高校は県新人で優勝、小学女子の習志野スーパースターズとともに全国大会出場という成績を収めた。きょうは一日、高校生と来季に向けてしっかりと基礎づくりをしてもらいたい」と中学生らを励まし、全国大会出場の2チームにお祝いを贈った。

講習会では準備運動の後、高校生の投手陣がストリート、ライズボール、チェンジアップと投げ分けて、中学生たちは投球フォームを真剣に見つめた。また、打撃では各種のバントの手本が示された。

守備の実技では、早く正確なスローイングや捕球しやすい返球の大切さが教えられ、ランダウンプレーの練習も実地で行われた。投手、捕手などのポジションごとの指導では、投球のポイントや捕球のコツなどが丁寧に指導され、打撃では下半身を使うことが強調され、中学生たちは技術を吸収し、充実した練習時間となった。

講習会終了に当たり、受講者を代表して第二中学校の京極茉莉キャプテンが「講習会を開いていただきありがとうございます。基本から応用まで学ぶことができました。学んだことを今後の練習や試合に生かしたい」とお礼の言葉を述べ、受講者全員で「ありがとう」の活動を紹介した。

高校選抜大会

3月20日から

習志野高校ソフトボール部が出場する第39回全国高等学校女子選抜大会は3月20日から23日まで、栃木県大田原市で開かれる。

習志野高校の初戦は3月20日午後3時予定の第4試合。山形県代表の鶴岡東高校と対戦する。

齊間監督は「日頃やっていないこともあったと思う。これがいけないというものは学校でも続けて練習してほしい。感染症予防をしっかりと続け、この冬を乗り越え、春には小学生も全国大会でいい成績が残せるように練習しましょう」と話し、小中学生を対象にした「ソフトボールアカデミー」、クラブチーム「フェニックス」ソフトボールクラブ」の活動を紹介した。

第3種公認審判員認定へ

ソフトボール審判講習会



実技講習の初めは「プレイボール!」のコールから



一塁塁審の立ち位置とフェア、ファウルの判定について説明する講師

公益財団法人日本ソフトボール協会主催の「第3種公認審判員認定講習会」が令和2年11月8日、袖ヶ浦運動公園ほかで開かれた。

ソフトボール競技の持続的な発展とチーム力の向上を目的に、日本ソフトボール協会と主管の千葉県ソフトボール協会が主催した。競技ルールを正確に知り、理解を深めることは試合などで役立ち、公認資格には上級資格への道が開かれている。また、審判員の育成は大会の運営には欠かせない要件となっている。

開講式では、千葉県ソフトボール協会の山口等副会長が習志野市の小中高生の活躍ぶりと、習志野市での世界選手権大会や日本リーグの開催への貢献を称え、講習での「知識とこれまでの経験を生かし、今後は第2種、第1種の資格を取って、千葉県ソフトボール界だけでなく、関東、全日本でも活躍してもらいたい」と挨拶した。習志野市ソフトボール協会の矢坂英子会長は、審判の充実によるソフトボールの発展について述べた。

午前中のルールなどの講義を終えた受講者はグラウンドに移り、認定委員長を務める千葉県ソフトボール協会の山田正芳審判副委員長が認定委員から実技講習を受けた。

準備運動の後には、「プレイボール」のコールからスタートした。主審が判定するアウト、ファウルボールのポーズとコールを、基本に忠実に学んだ。

講習会には第六中学校のソフトボール部が協力。部員たちは走者役や、バッテ

リを務め、打席に立つなど実地講習を手助けした。受講者は講師の教えで、ストライクゾーンを確認。球審の正しい立ち位置や構えるタイミングについてアドバイスを受け、実際にストライク、ボールを判定。ボールカウントの示し方などの指導を受けた。

ピッチャープレート(投手板)での投手の軸足と自由足、セット時間、不正投球の判定とゲームの流れにおける判断など、講師からは試合を想定したジャッジの要点が教えられた。

講習会では、第六中学校のソフトボール部の協力。部員たちは走者役や、バッテ



第六中学校ソフトボール部の協力で球審の判定を実地で学ぶ受講者



日本男子ソフトが

世界ランク1位に

オリンピックでのメダルが期待される日本女子ソフトボールだが、男子ソフトボールの活躍も見逃せない。

日本男子ソフトボールは、男子日本代表が2019年世界選手権で準優勝。ジュニアカテゴリーが2016年に世界ジュニア選手権優勝、2018年に世界ジュニア選手権優勝という好成績を上げ、現在、世界ランキング1位に躍り出た。

特にジュニアチームは、世界選手権からワールドカップに名称変更された最初の大会となった昨年2月にニュージーランドで開催された「WBSC第13回男子ソフトボールU18ワールド」で優勝し、2大会ぶりの3度目の世界1位となった。

躍進する日本男子ソフトボールがこれから目指すところは、ニュージーランドで来年開催予定の「WBSC第17回男子ソフトボールワールドカップ」の初優勝だ。

時事から学ぶ **小論文** 入試によく出る **朝日新聞で学ぶ総合教材**

2021年度教材 申込受付中

報道写真や図表を使った解説、朝日新聞の社説や天声人語を読み解く記述・論述問題で、時事問題に強くなる。

中学3年～高校生向け

テキスト32ページ/解答・解説16ページ 各1,800円+税

年間8冊 第1号は3月発行 ※毎号添削指導1回につき

ASA(朝日新聞販売所)でお求めいただけます。 今解き教室

当ASA(朝日新聞販売所)でのお申し込み **限定** 朝日新聞デジタルが **ずっと+500円/**

朝日新聞(宅配)購読料金 +500円(税込)/月

キャンペーン・ダブルコース

※当コースは、朝日新聞(宅配)購読が条件で、有料期間6カ月単位の契約です。6カ月ごとの自動更新で、契約満了月以外には解約できません。当ASAへお申し込みの場合、お申し込み月は無料となります。